

令和5年度第1回光警察署協議会会議録

開催日時	令和5年7月10日（月） 午後4時から午後5時20分までの間	
開催場所	光市中央2丁目1番14号 光警察署3階 大会議室	
出席者	委員	平田委員、弘中委員、岩本委員、北村委員、富谷委員、寶迫委員、長田委員 計7名
	警察署	署長、次長、警務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計9名
議題	1 業務説明 2 協議 警察における経済安全保障に関する取組の推進	
<p>1 会長挨拶</p> <p>本日は、ご多忙の中、また雨の中、令和5年度第1回目の光警察署協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>この度の大雨で、特に九州各地では線状降水帯の発生により災害が起きたと報道されているが、山口県においても、下関市、美祢市、山陽小野田市などで被害が生じているとのことである。幸いにも光市・熊毛地区では、被害があったという情報は聞いていない。</p> <p>さて、この度、委員の互選により、光警察署協議会の会長を拝命することとなった。これから会長として、地域の安全・安心に向けて精一杯頑張っていく所存であるので、皆様もご協力をよろしくお願いする。</p> <p>ご存知のとおり、警察署協議会は、警察署の方々と私たち委員が意見を交わし、地域の安全・安心につなげていくものである。犯罪が発生しにくい、交通事故が起こりにくい環境をつくるためには、官民一体となった、このような活動が本当に大切である。</p> <p>これからも、委員の皆様と共に、光警察署にとって良きアドバイザーとなれるよう、しっかりと機能していきたいと思っているので、ご協力をよろしくお願いする。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 業務説明（署長）～令和5年5月末現在の業務推進状況</p> <p>(1) 刑法犯の認知・検挙状況</p> <p>(2) うそ電話詐欺の認知・検挙状況</p> <p>(3) 交通事故の発生状況</p>		

4 自己紹介

(省略)

5 諮問事項

警察における経済安全保障に関する取組の推進について警備課長が説明した。

(委員)

私は、不動産業を営んでいるが、時々、太陽光発電の用地を探しているお客さんがいる。目的は分からないが、例えば中国が北海道などで土地を買い占めているのと同じように、中国人の投資家が太陽光発電を名目に光市や米軍基地がある岩国市の土地を買うことは、国の安全保障に関わってくるのではないかと感じた。

(警備課長)

一概には言えないが、目的を含めて情報を収集・分析し、そこに犯罪行為があれば、当然、取り締まっていくことになる。

(委員)

今回は、アウトリーチを始め、初めて聞く難しい言葉が多いと感じた。

そもそも、この話は一般市民というよりも国対国の話で、企業や研究機関を対象としているのではないのか。

光警察署では、どのような企業を対象としているのか、具体的事例があれば伺いたい。

(警備課長)

アウトリーチ活動の対象は大企業だけではなく、町工場のような小さな会社でも、最先端技術を持っている場合は対象となり得る。

管内には様々な企業があるので、軍事転用可能な先端技術を有する企業を把握した場合、積極的にアウトリーチ活動を展開していく。

(委員)

アウトリーチ活動とは、人材教育なのか。

(警備課長)

外国からの働きかけの手口やそれに対する有効な対策について情報提供する活動をいう。

(次長)

アウトリーチ活動は、警察が企業に対して手を差し伸べる活動とイメージしていただきたい。

先端技術を持っていると思われる企業に対し、「こういった手口がある、こういうことに気を付けてほしい。」と説明させてもらっている。

(委員)

つまり、啓蒙活動ということか。

(次長)

そのとおりである。

アウトリーチ活動は未然防止を目的とした活動であるが、アウトリーチ活動に

よって、企業から「そういえば、こういうことがあった。」などと情報が寄せられ、不審点が浮かび上がってくることも考えられる。

その場合は、警察が調査・捜査に着手していくことになる。

(委員)

実際に捕まえることもあるのか。

(次長)

何らかの容疑があれば必要な捜査を行い、取締りを行っていくことになる。

(署長)

警察としては、様々な活動を通じて、いかに「不審な人物がいる。おかしい取引がある。」などの不審情報を入手し、解明していくかが重要であると考えている。

ただ、警察だけでは情報収集が十分とは言えないため、潜り込んでいる情報を皆様から提供していただけると、とてもありがたい。

(委員)

私が売買契約をした物件に複数のベトナム人が滞在しており、その中に偽造ビザを所持した者も混じっていた。

このような実態があっても、近所で「少し変だよな。」と話が出る程度であった。

(署長)

地元の方が知っていることを警察が全て知っているかといえば、そうとは言い切れないのが実情であるので、あらゆる面で情報提供をお願いしたい。

(委員)

インターネットを介して高い技術力のある企業や研究者が狙われていると理解できたので、そのような企業に勤めている方や研究者が身近にいれば、注意するよう呼びかけていきたい。

(委員)

先程動画で紹介されていたが、色仕掛けで誘惑するという手口はもう古いのではないか。

先日、ハッキング世界大会で1位から4位を北朝鮮が独占したというニュースを見たが、今は、サイバー攻撃が主流の時代ではないのか。

(次長)

もちろん、サイバー攻撃は主要な手口の一つであるが、当然ながら、企業側も対策を講じている。また、対人物という古典的な手口であっても、犯人側がそういった手口をとる以上、警察としては対策が必要と考えている。

(委員)

全国的な情勢はどうか。

(署長)

表面化していないだけで、人の弱みにつけ込む、昇進などの旨味をチラつかせるなど、水面下では不審なやり取りが行われている可能性がある。

外国に日本の貴重な先端技術を奪われないように、本日説明したような活動を

展開しているところである。

(委員)

山口県内の情勢はどうか。

(警備課長)

古い事例であるが、平成18年、元貿易商社の代表取締役が、軍事転用可能な凍結乾燥機を無許可で北朝鮮に輸出したとして検挙したことがある。

6 意見・要望等

(委員)

050で始まる電話番号から、何度も電話がかかってくる。すぐに留守電ボタンを押すが、あまりにしつこく、どのように対応すればよいか伺いたい。

(署長)

050で始まる電話は、IP電話というインターネット回線を利用しているもので、特殊詐欺のような犯罪に使用されるものもあれば、会社などで使用されている正規の番号もある。

その電話番号を教えていただければ、様々な調査や対策を行うことができ、場合によっては被害防止につながる可能性があるため、積極的に情報提供していただきたい。

7 その他

次回会議については、令和5年10月頃に開催予定とした。